

目次

口絵

序

凡例

総合解説

第一章 尾張藩の尾西・尾北地域での領国支配

第一節

地方知行の実施とその仕組み

16

蔵入地村方と給知村方／村方分割の実態／陪臣への地方知行／元高と概高／給知村方での新開地の蔵入地化／支配関係の変更を巡って

第二節

藩による支配と給人による支配

45

蔵入地村方の支配／給知村方の支配／藩による藩領一括支配／領内支配の実情

第三節

年貢・諸役の賦課と徴収

58

年貢米／麦年貢／綿布役銀と種々の役銀

第四節

魚鳥類への支配

73

尾張藩による魚鳥殺生の統制／家中の拝領場／横井伊折介拝領鷹場における支配

第二章	村々と地域住民	87
第一節	村政と住民構成	88
第二節	村の由緒と成り立ち／村の政治／村で起こる事件／頭百姓と小前の対立 村と百姓の負担	111
第三節	年貢と村役／小作勘定・請負／先納金と調達金／村の経済 地域間のつながり	130
第四節	地域組織／地域間の人の動き／村落・地域間争論 地域の記録	140
第三章	拓 ^{ひら} けゆく新田地域	153
第一節	新田を拓く	154
第二節	新田開発の許可／新田の由緒／新田開発費用 新田村落とその住民	175
第三節	新田村落の様相／新田の役人／新田の住民 新田経営	196
	新田地主／小作と間作／新田の維持	

第四章	用水と排水	211
第一節	用水管理	212
第二節	尾張藩の水支配／水の分配／入鹿池	235
第二節	用水	235
第三節	水路の確保／用水普請	246
第三節	排水	246
第四節	排水組合／排水をめぐる争い	253
第四節	杣	253
第四節	杣／杣の修復	253
第五章	水をおさめる	265
第一節	河川の管理	266
第一節	木曾川／佐屋川	266
第二節	災害と復旧	274
第二節	災害／川普請	274
第三節	輪中地域の水利	315
第三節	掘抜井戸／堀田	315

第六章	城下町 <small>いぬやま</small> 犬山	319
第一節	町のしくみと政治	320
第二節	犬山十二か町と城属五か村／町の運営に携わる人々／町法	338
第三節	町の負担／日役と出人／負担の増大	348
第七章	尾張 <small>ざいかた</small> の在方町	365
第一節	在方町の成り立ち	366
第二節	町の諸相／土地所持と年貢諸役／町の政治	407
第八章	産業	435
第一節	農業	436
	耕地と農産物／農業経営の変化／養蚕と製糸	

第二節	農村工業	448
第三節	農木綿の生産／水車による絞油・搗麦・酒造／焼油製造	466
第四節	商業	466
第四節	木綿の小買・仲買／総系仲買／地藍問屋／灰商い／他所商い	497
第四節	産物会所	497
第四節	起産物会所／宮田産物会所／津島産物会所	497
第九章	河川交通	509
第一節	川並支配	510
第二節	川並番所／船改と船数／移出入の規制	510
第二節	渡船場	523
第三節	渡船／寄船／渡船の利用／船橋	523
第三節	運材	540
第四節	桴輸送／材木輸送／流材と留木／流材の取締り	540
第四節	諸荷物輸送	558
第四節	年貢米輸送／運賃と荷物輸送／川原石輸送	558

第十章	陸上交通	577
第一節	街道と宿場	578
	佐屋路／美濃路・岐阜街道／犬山街道	
第二節	さまざまな通行	603
	旅と人びと／馬・車の輸送／幕末の通行	
第十一章	寺院と神社	629
第一節	尾張藩制下の神社	630
	寺社の運営と維持／神葬祭の一般化と寺社の対応／本末制・触頭制と寺檀組織 ／広域の神社祭祀	
第二節	地域社会と神社	679
	キリシタン禁制と宗門改／地域に根ざす信仰	
第十二章	人びとの暮らしと社会	711
第一節	家と家族	712
	家格と由緒／家族と相続／女子持ち分	
第二節	人びとの生涯	723
	縁談・婚姻・離婚／出産と子ども・成人／老いと死	

第三節	くらし	732
	住まいと食事／年中行事／地域医療／施物と積金	
第四節	さまざまな稼ぎの人びと	750
	旅籠屋の女性／差別を受ける人びと／徘徊する人びと	
第五節	社会不安とその対応	760
	世相・風聞・情報／災害と困窮の諸相／秩序の維持／変化を求めて	
第十三章	文化	775
第一節	所蔵書籍・所蔵書画の文化世界	776
	所蔵書籍の文化世界／所蔵書画の文化世界／書籍の購入・貸本と書画の表装先	
第二節	子どもの教育	802
	手習い教本の世界／子どもの儒学学習の実態	
第三節	文芸・学芸・地誌の創作と背景	818
	旅日記の文芸／国学的随筆の世界／『尾張名所図会』『名区小景』成立の背景 ／『尾張地名考』著者津田正生と荷之上村服部家	
第四節	学問と地域政治	843
	明倫堂教授の廻村講話要求／明倫堂教授並鈴木胤・教授渡辺忠左衛門の講話内 容／儒教道德本の出版配付	

第五節 尾張独自の八代流花道	863
八代流花道伝書／八代流花道の地域展開	
解説	875
史料群解説	987
あとがき	1005
執筆分担	1008
資料提供者及び協力者	1009
愛知県史編さん関係者名簿	1011
掲載史料編年一覧	1018

細目次

第一章 尾張藩の尾西・尾北地域での領国支配

第一節 地方知行の実施とその仕組み

1	海西郡荷之上村百姓家数牛馬書上帳控 寛政四年三月	16
2	中島郡吉藤村田畑面積および品々書上帳 元文二年十月	16
3	葉栗郡北方村の蔵入地および給知の立合い状況につき庄屋覚書 西五月	19
4	小牧代官西村源八郎より丹羽郡川井村宛の預知年貢割付状 天保十一年十一月	20
二 村方分割の実態		
5	丹羽郡西大海道村内藤帯刀知行所分につき耕作百姓など覚書	21
6	丹羽郡川井村御蔵入高分耕作百姓などにつき小牧代官所宛書上帳 天保五年十一月	22
7	海西郡本部田村八左衛門田地売渡し証文下書 延享二年六月	24
8	丹羽郡八劔村絵図袖書(抄) 天保十二年六月	24
9	海東郡西之森村本田地割帳(抄) 文化二年十月	25
三 陪臣への地方知行		
10	横井伊折介家給人知行および同反取分などにつき所付帳写(抄) 寛永十七年十一月	26
11	風儀改めにつき横井伊折介より家中勤役輩へ触書写 嘉永二年十二月	35

四 元高と概高

12 知行所一〇年分年貢米につき横井伊折より國奉行宛届控 寛永二十一年六月

36

13 給知村方での新開地の蔵入地化

成瀬隼人正請控の丹羽郡時之島村埋田見取地改帳

文化十三年五月

14 成瀬隼人正請控の丹羽郡時之島村埋田見取年限継続につき北方代官指示書 文化十三年九月

15 六 支配関係の変更を巡って

16 丹羽郡時之島村大野勘三郎他の蔵入百姓化を認めるにつき地頭長野新左衛門証文 文政七年十二月

17 成瀬家領中島郡三宅村の蔵入地化に際し宗門自分一札免許掛合いにつき成瀬宛依頼書下書 戌三月

18 44

19 44

第二節 藩による支配と給人による支配

一 蔵入地村方の支配

17 宗門改のため帳面など用意のうえ陣屋へ連絡の指示につき鶴多須代官触書写 天保十五年三月

18 丹羽郡寄木村蔵入百姓宗門改のため同郡余野村徳林寺他へ出張願につき廻状 卯四月

19 海東郡大井村百姓武兵衛倅を同郡善太新田村百姓弥六方へ養子につき請合証文 元禄十四年四月

20 二 給知村方の支配

丹羽郡川井村給人洪谷家組庄屋の入札方法につき同家人宛願書控 巳二月

46

46

45

45

46

細目次

21	給知百姓のうち宗門自分一札免許者の一札差出し方などにつき書状 閏正月	47
22	海西郡荷之上村百姓惣十郎後家へ同郡東条村百姓弟入り婿につき願書控 享保十八年九月	48
23	横井伊折介家名古屋御用人足数につき海西郡赤目村庄屋報告書 子九月	48
24	横井伊折介家による知行所百姓救恤につき夫食代金渡し帳(抄) 天明四年三月	49
25	横井伊折介家へ岩田茂兵衛より先納金につき証文	50
26	春役米代上納依頼などにつき丹羽郡時之島村給人酒井より同村大野勘三郎他宛書状 安政四年三月	50
27	三藩による藩領一括支配 尾州・濃州の尾張藩領分村々見廻りのため目付役派遣につき鶴多須代官触書写 天保十四年十一月	51
28	佐屋代官所支配村々触順帳(抄) 安政二年五月	52
29	昨今の時節に際し尾張藩領境目誓固につき人足出し方および心得書・同請書(抄) 文久三年九月	54
30	四 領内支配の実情 秋方役所へ無届の修繕工事に代官所より取払い命令のため横井家宛声掛け願書控 文久元年八月	56
31	小池半五郎の鶴多須代官転役に際し声掛けの実施などにつき吉田勘兵衛書状 文政七年十一月	57
第三節 年貢・諸役の賦課と徴収		
32	一年貢米 田植終了につき海西郡荷之上村より佐屋代官所宛届控 嘉永六年五月	58
33	虫送り実施につき海西郡荷之上村より佐屋代官所宛届控 嘉永六年六月	58
34	検見に村順通り出向くため村境へ出迎えなどの指示につき鶴多須代官触書写 天保十四年閏九月	58
35	海西郡荷之上村宛申年年貢割付状 寛永二十一年十月	60
36	海西郡荷之上村宛西年年貢割付状 正保二年十一月	60
37	子年年貢割付につき中島郡坂田村理左衛門請書 貞享元年十二月	61
38	海東郡日光埋田卯新田の卯年年貢米につき大代官皆済状 延享五年六月	61
39	丹羽郡時之島村給知の年貢下げ出願のため蔵入地の勘弁につき小牧代官所宛願書 天保七年十一月	62
40	二 表年貢 海東郡善太新田村卯年年貢のうち上掲表代金請取書 元禄十二年閏九月	62
41	虫書のため枯穂多数につき検見願下書 子四月	63
42	申年夏表年貢の勘定などにつき横井家臣岩田小弥太宛届書 申七月	63
43	地頭へ表納入遅滞の百姓呼出しにつき丹羽郡八劔村庄屋より小牧代官所宛願書 天保十四年八月	64

細目次

44	三 綿布役銀と種々の役銀 尾張藩による綿布役徴収につき佐屋代官触書写 寛政三年三月から七月	65
45	海西郡荷之上村綿布役書上帳 天保十年七月	67
46	海東郡善太新田村辰年堤銀請取書 元禄十三年十二月	72
第四節 魚鳥類への支配		
47	一 尾張藩による魚鳥殺生の統制 海西郡市江寅新田輪中鷹場での田鳥の分殺生許可につき同輪 中村々願書 元文二年十一月	73
48	横井伊折介鷹場拝領につき鶴多須代官方留記書抜き(抄) 天保三年四月から同五年七月	74
49	鳥御法度申し渡すため鷹照合札など持参呼出しの指示につき 藩鷹方役所触書写 天保十五年九月	79
二 家中の拝領場		
50	木曾川筋での殺生および丹羽郡一円成瀬家鷹場での取締りに つき天山町方役所触写 天保三年七月	79
51	竹腰山城守鷹場海東・海西両郡村々々の小鳥殺生運上場化につ き留書 天保五年から同十四年	80
52	竹腰山城守鷹場村々へ小鳥殺生の村請につき竹腰家鳥役所規 定書 天保五年三月	81
三 横井伊折介拝領鷹場における支配		
53	横井伊折介鷹場拝領による取締りにつき海西郡早尾村など十 五か村庄屋請書 天保五年十月	82
54	浸水により頂戴の夫食米各村へ配付するにつき横井伊折介鷹 場村々届書 天保十二年六月	84

第二章 村々と地域住民

第一節 村政と住民構成

55	一 村の由緒と成り立ち 葉栗郡村久野村明細帳控 寛文十三年二月	88
56	海西郡荷之上村明細帳控 寛文十三年三月	91
57	葉栗郡北方村舟渡しの由緒につき池田輝政よりの感状等写書上 葉栗郡宮田村水車稼ぎ人足等尋ねにつき覚書	93
58	二 村の政治 中島郡起村議定 寛文六年八月	94
59	御車庄屋退役につき海西郡東保村竹右衛門より大代官宛願書 写 安永八年正月	96
60	中島郡築込村庄屋毎月心得書 文化十四年	99
61	海西郡二子村氏神席順訴訟内済証文 天保九年十二月	100
62	海西郡藤ヶ瀬村議定 慶応三年十一月	101
63	三 村で起る事件 性海寺愛染明王開帳の際中島郡大塚村若者乱暴狼藉一件につ き覚書 文政五年九月	103
64	中島郡小信中島村密夫出入内済証文写 天保十四年十二月	104
65	屋根葺替妨害差留につき葉栗郡宮田村百姓より北方代官宛願 書控 安政三年九月	105
66	四 頭百姓と小前の対立 海東郡鱒江新田村割地支配での不平等取直し方を求める小百 姓らの願書写 天保七年四月	106
67		108

68	丹羽郡外坪村下用について小百姓と頭分らの入組み済まし方を求める願書控 午三月	109
第一節 村と百姓の負担		
	一 年貢と村役	
69	海西郡荷之上村添免定 延享元年十一月	111
70	丹羽郡御供所村小役覚帳 寛政十三年	112
71	丹羽郡和田勝佐村勇助宛掘米手形 戌十一月	118
72	二 小作勘定・請負 葉栗郡高田村百姓地方および家屋敷借宅証文	118
73	海西郡赤目村百姓より岩田小弥太宛小作請書 文政十一年正月	119
74	海西郡早尾村富十郎直小作証文 慶応二年二月	121
75	村外への高付替禁止につき中島郡野田村などからの作徳米直納の約定書写 明治三十年十月	121
76	三 先納金と調達金 地頭方借用金につき中島郡桜方村役人より鶴多須代官宛村方引請の請書控 文政元年十二月	122
77	調達金差上切につき中島郡小信中島村百姓より鶴多須代官宛願書控 嘉永六年二月	123
78	四 村の経済 葉栗郡宮田村百姓土地村方において入札譲渡につき一札写 寛文十一年十二月	124
79	葉栗郡宮田村下用大割帳写 安政六年十一月	124
80	和宮通行負担につき葉栗郡宮田村借証文 文久二年十二月	129
81	御用につき市江輪中村々の庄屋参会を求める廻状 十月	130
82	海東郡惣代の人名に関する書付 十月	130
83	海東郡惣代参会内容通達につき廻状 十月	131
84	市江輪中村々郷宿入用割書上帳	131
85	二 地域間の人の動き 海西郡荷之上村他所奉公人書上帳 寛政七年四月	133
86	中島郡朝宮村清助奉公人請状 嘉永二年十二月	136
87	三 村落・地域間争論 津島祭礼市江車出し妨げ一件につき御国奉行衆よりの裁許写 明和四年五月	137
88	陣屋東道立合道取極めにつき中島郡柿木島村庄屋より海西郡東川村庄屋宛請書 文化十三年三月	138
89	尾張藩領沖面藻草取場争論につき海西郡村々と伊勢国長島新田村々約定証文 天保十一年五月	138
第四節 地域の記録		
90	一 記録 海西郡荷之上村庄屋万覚書帳(抄) 正徳一年から	140

細目次

第三章 拓けゆく新田地域

第一節 新田を拓く

91	一 新田開発の許可 海西郡政成新田東新開築立につき佐屋代官らより申渡書写 天保三年十二月 ……	154
92	二 新田の由緒 海西郡鳥ヶ地前新田村控由緒覚書 巳二月 ……	155
93	川添村々開発高成等年曆取調書上 文久二年十一月 ……	158
94	三 新田開発費用 海西郡大宝前新田入用金見積帳(抄) 宝永四年三月 ……	171
第二節 新田村落とその住民		
95	一 新田村落の様相 海西郡森津新田村書上控 天保十二年八月 ……	175
96	二 新田の役人 海西郡飛鳥新田元起郷・松之郷組庄屋申付につき惣庄屋より 佐屋代官宛願書写 文化四年二月 ……	176
97	海西郡飛鳥新田五郷引き分けに伴う村役の件につき惣庄屋より 佐屋代官宛願書写 文化八年四月 ……	176
98	三 新田の住民 海西郡政成新田作小屋住人別改帳 嘉永七年正月 ……	176
99	海西郡狐地新田市江分他作小屋住百姓宗門改につき同新田庄 屋より佐屋代官宛願書控 ……	195

100	海東郡蟹江新町村弥市等作小屋仮住居につき飛鳥新田惣庄屋 より佐屋代官宛願書写 文化四年二月 ……	195
101	海西郡四郎兵衛新田惣百姓中年頭御礼につき書上 安永七年正月 ……	196

第二節 新田経営

102	一 新田地主 海西郡飛鳥新田大宝走・八島走地主書上 文化三年十月 ……	196
103	海西郡政成新田地主中取極めにつき取替し証文 天保九年九月 ……	198
104	海西郡鳥ヶ地前新田勘定覚書 明和元年十二月 ……	201
105	二 小作と間作 伊勢国桑名郡加稻新田百姓ら同郡稻荷後新田小作につき津島 堀田理右衛門宛一札 文化元年四月 ……	204
106	間作離れにつき伊勢国桑名郡鎌ヶ地新田百姓より海東郡福田 新田西河彌六宛証文 天明三年十二月 ……	205
107	田畑間作取調につき海西郡庄屋届書写 嘉永二年六月 ……	205
108	三 新田の維持 海西郡鳥ヶ地前・大宝前両新田地名改名につき新田役人より 神守代官宛願書写 寛政十二年十二月 ……	207
109	海西郡鎌島新田村木村忠右衛門庄屋役一件につき鈴木四郎左 衛門訴状写 文政十二年十二月 ……	208
110	海西郡政成新田東新開讓請につき木曾十一宿惣代らより津島 村地主ら宛取替し証文 天保四年二月 ……	209

第四章 用水と排水

第一節 用水管理

111	一 尾張藩の水支配	212
112	宮田水役所記録	215
113	大塚杢および水役所記録	217
114	大塚杢守見習役任命書 文政七年八月	224
115	杢守見習柴田長右衛門出精につき褒状 文政十年十一月	224
116	丹羽郡大赤見村服部喜左衛門支配所内大江通井組惣代役等申付状 弘化三年十二月	224
117	用悪水見廻りおよび井番役請につき津島惣年寄ら宛一札 嘉永二年閏四月	225
118	葉栗郡宮田村八橋小兵衛他三名宮田用水路見廻役申付状 八月	225
119	葉栗郡黒岩村脇田代治郎奥村并筋見廻役任用等の件につき鶴多須代官宛願書写 嘉永三年四月	226
120	二 水の分配	
121	大塚水役所用水配水手形留 安政五年五月	226
122	海東郡蜂須賀村配水刻割覚書 七月	234
123	三 入鹿池	
124	入鹿池水高定書写 元禄九年二月	234

第二節 用水

122	一 水路の確保	
123	新井道掘割のため替地請取につき善太新田村茂左衛門宛一札 元禄十四年五月	235
124	海東郡中一色村日光新田地内用水禿地替地につき覚書	235
125	海西郡上東川村井領米一石永代渡につき同村庄屋より野田村茂助宛証文 天明八年十二月	236
126	二 用水普請	
127	般若新井道掘割につき定書写 元文五年五月	236
128	海東郡蟹江新田村・西野新田の立合用水普請仕様帳 宝暦二年二月	238
129	海東郡五兵衛新田用水掘割につき同郡蟹江本町村鈴木岩吉より神守代官宛嘆願書写 寛政十年三月	240
130	宮田用水路定式普請金の書上 寅五月	241
131	海西郡坂中地新田水筒についての覚書	241
132	海西郡服岡新田用水掛方仕法替一件につき済口証文写 弘化二年十二月	241
133	海東郡戸田村早魅につき同村庄屋より大代官宛配水願書写 天保十年七月	245
134	第三節 排水	
135	一 排水組合	
136	平島悪水井組孫宝井組加入につき留書写 享保十九年二月	246
137	平島悪水井組書上	249

細目次

143	木曾川筋瀬道に伴う御殿神事執行困難につき津島神社社家・社僧より同神主宛嘆願書 辰五月	272
142	請願および済口証文写 天明二年七月	270
141	村役人嘆願書写 天保十一年八月	266
140	筏川先海口落新開築立水行差障りにつき西保村ほか三か村村役人嘆願書写 天保十一年八月	266
139	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
138	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
137	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
136	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
135	二 杵の修復	257
134	宮田杵記録	253
133	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
132	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
131	二 杵の修復	257
130	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
129	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
128	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
127	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
126	二 杵の修復	257
125	宮田杵記録	253
124	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
123	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
122	二 杵の修復	257
121	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
120	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
119	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
118	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
117	二 杵の修復	257
116	宮田杵記録	253
115	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
114	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
113	二 杵の修復	257
112	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
111	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
110	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
109	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
108	二 杵の修復	257
107	宮田杵記録	253
106	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
105	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
104	二 杵の修復	257
103	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
102	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
101	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
100	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
99	二 杵の修復	257
98	宮田杵記録	253
97	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
96	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
95	二 杵の修復	257
94	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
93	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
92	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
91	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
90	二 杵の修復	257
89	宮田杵記録	253
88	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
87	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
86	二 杵の修復	257
85	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
84	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
83	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
82	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
81	二 杵の修復	257
80	宮田杵記録	253
79	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
78	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
77	二 杵の修復	257
76	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
75	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
74	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
73	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
72	二 杵の修復	257
71	宮田杵記録	253
70	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
69	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
68	二 杵の修復	257
67	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
66	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
65	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
64	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
63	二 杵の修復	257
62	宮田杵記録	253
61	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
60	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
59	二 杵の修復	257
58	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
57	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
56	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
55	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
54	二 杵の修復	257
53	宮田杵記録	253
52	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
51	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
50	二 杵の修復	257
49	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
48	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
47	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
46	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
45	二 杵の修復	257
44	宮田杵記録	253
43	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
42	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
41	二 杵の修復	257
40	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
39	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
38	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
37	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
36	二 杵の修復	257
35	宮田杵記録	253
34	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
33	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
32	二 杵の修復	257
31	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
30	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
29	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
28	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
27	二 杵の修復	257
26	宮田杵記録	253
25	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
24	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
23	二 杵の修復	257
22	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
21	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
20	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
19	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
18	二 杵の修復	257
17	宮田杵記録	253
16	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
15	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
14	二 杵の修復	257
13	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
12	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
11	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
10	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
9	二 杵の修復	257
8	宮田杵記録	253
7	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
6	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
5	二 杵の修復	257
4	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
3	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261
2	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
1	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257

二 排水をめぐる争い

134	平島井組悪水落につき市江輪中庄屋中宛手形 寛保四年二月	250
133	十三・沖永井組村々悪水落方模通のため杵伏替等の件につき佐屋代官宛済口証文写 天保九年二月	251

第四節 杵

一 杵

136	宮田杵記録	253
137	海西郡政成新田杵橋元帳 文政九年二月	254
138	海西郡六条新田杵伏込につき孫宝井組と同郡鳥ヶ地新田・六条新田の取替し証文写	257
139	海西郡与太郎川平新田杵場所替につき雑記 天保十四年正月	258
140	用水杵伏直しにつき杵方役所より海西郡荷之上村など宛資材受け渡し状 天保十五年十二月	261

第五章 水をおさめる

第一節 河川の管理

一 木曾川

141	筏川先海口落新開築立水行差障りにつき西保村ほか三か村村役人嘆願書写 天保十一年八月	266
142	木曾川通川底高につき中島郡富田村ほか五か村村役人より普請願および済口証文写 天明二年七月	270
143	木曾川筋瀬道に伴う御殿神事執行困難につき津島神社社家・社僧より同神主宛嘆願書 辰五月	272

二 佐屋川

144	佐屋川筋拾町野より梶島迄川巾覚書	273
-----	------------------	-----

第二節 災害と復旧

一 災害

145	海東郡津島村周辺水害記録(抄) 寛保元年六月	274
146	佐屋川洪水入水記録(抄) 宝暦七年	277
147	津島神領ほか水害記録 宝暦七年五月	278
148	入鹿大池破壊・水死人記録 慶応四年五月	283
149	日光川新田堤破損箇所修復のための取土につき津島村大橋源三右衛門一札下書 元禄二年五月	285
150	松平薩摩守手伝普請につき国奉行触書の廻状写 宝暦四年二月	285
151	松平薩摩守手伝普請記録	286
152	海西郡鳥ヶ地新田村松吉三右衛門家由緒書写 文政八年八月	287
153	油島締切差障りのお尋ねの件につき海西郡芝井新田庄屋らより国方役人宛届書写 明和元年七月	288
154	伊勢国油島改修工事につき尾張国海東・海西郡村々より多良役所宛願書 明和元年八月	288
155	伊勢国油島改修工事記録 寛政元年三月	290
156	尾張国・伊勢国境川通締切工事記録 明和元年九月	293
157	海東郡砂子村内飯田源一郎知行地新川改修に伴う替地につき国方吟味役ら覚書 天明七年八月	297
158	海東・海西水分善太中堤修復につき海東郡善太新田村服部茂左衛門より嘆願書控 文政八年三月	298

159	立田輪中・神明津間の川築留後の旧堤防保存につき藤ヶ瀬村 横井孫右衛門願書写 天保十二年正月	300
160	佐屋川・筏川御堤御丈夫附普請記録 嘉永四年五月	301
161	油島新規築流猿尾記録	312
162	越津恵水井組落杣先水除猿尾継足普請につき願書写	313
163	越津恵水井組落杣先猿尾継足普請着手につき井組惣代より佐 屋代官宛届書写 文政二年七月	314
164	越津恵水井組落杣先猿尾継足普請につき越津村庄屋より佐 代官宛届書写 文政二年七月	314
第三節 輪中地域の水利		
一 掘抜井戸		
165	市江輪中掘抜井戸拵調につき海西郡西保村ほか二〇か村より 佐屋代官宛届書写 文政六年正月	315
二 堀 田		
166	菱池新田畔田願につき中島郡三宅村頭百姓より尾州郡奉行宛 願書写 寛延二年十一月	316
167	西野新田くね田普請につき海東郡蟹江本町村鈴木四郎左衛門 覚書 宝永八年二月	318
第六章 城下町犬山 <small>いぬやま</small>		
第一節 町のしくみと政治		
一 犬山十二か町と城属五か村		
168	城下に流行病の有無お尋ねにつき犬山惣庄屋らより小牧代官 宛届書写 安政六年八月	320
169	年貢差詰りにつき犬山城下大本町村百姓より村木隠居宛金子 借用証文 万延元年十二月	320
170	祭礼入用ほか勘定につき余坂村宛の町方村方負担額割付覚書 安政五年十二月	321
171	犬山城下大火につき岩倉村村民火事見舞の覚書 天保十三年六月	321
二 町の運営に携わる人々		
172	犬山町惣年寄役中万留(抄) 安政四年	322
173	犬山城下十二か町町代名前につき届書控 安政五年正月	333
三 町 法		
174	犬山城下諸振舞いのお尋ねにつき小牧代官宛届書写	334
175	犬山城下家屋敷売渡しにつき分一金徴集記録(抄) 天保十四年四月	336
176	城下魚屋町の控家屋敷売渡しにつき売主・買主より犬山町奉 行所宛証券 天保十五年十二月	337
177	文政七年	336

細目次

第二節 町の負担する諸役

177	一 町の負担	338
177	犬山上本町惣割入用免目録 文化十三年十一月	338
178	犬山十二か町取立て銭の覚 安政二年	339
178	二 日役と出入	343
179	犬山鶏飼町出入役書上帳 安政二年正月	343
180	犬山下本町日役出入役書上帳 安政三年正月	344
181	犬山十二か町日役出入書上目録 安政六年正月	345
182	三 負担の増大	345
182	犬山川並番所御改正による負担増につき犬山十二か町より復 旧嘆願書下書 弘化二年十二月	345

第三節 町に暮らす

183	一 城下の商人と職人たち	348
183	犬山妻会所仲間株認可につき大島太兵衛より会所宛差入金借 用証文 享和三年十一月	348
184	米会所仲買人人心得につき犬山町奉行所より達書写 子五月	348
185	犬山蔵物の京都捌き方の変更につき京都町奉行所への口上書 写 四月	350
186	犬山御産物糸仕入れ資金借用につき産物問屋綿屋太兵衛より 三井屋佐七宛証文 文化元年九月	350
187	信濃国松代城下において犬山蔵物会所開設につき覚書写 天保五年五月	351
188	控え家に借家人置きたきにつき上本町太兵衛より犬山町奉行 宛願書控 文化十一年・同十三年	352

189 犬山中本町諸商・職人手間および諸品売値段引下げにつき書
上帳 天保十四年七月

二 家臣たちの暮らし

190	商売心得方につき城下宿屋・温鈍屋・煮売茶屋への犬山町奉 行所触写 天保四年五月	358
191	成瀬家中への無礼を諫める犬山町奉行所触写 天保四年五月	359
192	成瀬家家臣より城下商人宛金子借用証文 天保三年十一月	360
193	鈴木玄道ら成瀬家家臣間の金子借用証文 安政六年十月	360
194	堀田正慶らより村木隠居宛借家証文 嘉永五年五月	360
195	三 町と祭祀	361
195	上本町祭祀車山修繕につき犬山町奉行所への願書および修繕 費用勘定目録写 文政七年八月	361
196	犬山祭祀につき鍛冶屋町定書 天保六年八月	364

第七章 尾張さいかたの在方町

第一節 在方町の成り立ち

197	一 町の諸相	366
197	海東郡津島村米之座分山車再建につき車屋中より願書下書	366
198	海東郡蟹江本町村魚問屋免許および市開設につき同村庄屋ら より郡奉行宛願書写 享保十六年十月	369
199	中島郡一之宮村惣年寄御目見免許につき同村惣年寄より北方 代官宛願書写 文政八年四月	369
200	中島郡起村六斎市の市日変更につき申渡書 天保十二年十二月	370

細目次

201	丹羽郡岩倉村織田伊勢守城址石碑建立につき覚書	安政七年正月	371
202	中島郡起村村高家数人数書上帳控	万延二年	371
203	丹羽郡岩倉村村高家数人数書上写	文久三年七月	372
204	二 土地所持と年貢諸役		
205	海東郡津島村伴伊兵衛町方分、地方分所持高書上帳	文化十四年十一月	374
206	海東郡津島村今町分所持地譲り渡しにつき名古屋袋屋小兵衛より伴伊兵衛宛証文	明和七年十二月	386
207	海東郡津島村惣年寄庄屋役勤務格別につき渡辺新兵衛諸役免除手形	文化十二年十月	389
208	中島郡起村東町・西町家並帳	嘉永二年十二月	391
209	中島郡起村西町年貢諸役勘定帳	嘉永六年十二月	394
210	三 町の政治		
211	海東郡津島村惣年寄役申渡書	文化六年十二月	398
212	海東郡津島村北口町代退役につき覚書	文政四年十月	399
213	一之宮村惣庄屋役ほか勤務の際名代を立てたきにつき同村浅井勝平より北方代官宛願書	文政八年	399
214	美濃路起宿村役人職掌につき心得方申渡書写	文政十二年十一月	400
215	海東郡津島村庄屋二名退役の訊お尋ねにつき津島村惣年寄らより佐屋代官宛届書写	嘉永二年二月	402
216	海東郡津島村町方借家証文につき雛形	元禄十年正月	403
	海東郡津島村中島分ほか借家証文改めにつき差入れ証文	正徳二年三月	404
217	海東郡津島村上切分町内振舞い金につき約定書写	嘉永五年三月	405
218	一 在町の商人と職人		
219	海東郡津島村旅籠屋株仲間受入れにつき口上書覚書控	文化十三年四月	407
220	海東郡津島村小之座分にて風呂屋開業につき仙右衛門より佐屋代官宛願書写	文化十三年九月	408
221	海東郡津島村酒相場の覚書	文政二年六月	409
222	津島村今市場分酒造家との取引につき諸桑村清右衛門より佐屋代官宛願書写	十一月	409
223	海東郡蟹江本町村魚問屋新規開業につき同村魚問屋甚六より丹羽郡岩倉村問屋商品取寄せにつき枇杷島市場相場の覚書	天保二年十二月	410
224	津島神領米会所開設につき津島神社神主より寺社奉行宛願書写	天保十三年十二月	412
225	津島神領米会所再願につき近江国八幡町にて休止の米会所株利用の願書写	天保十四年五月	414
226	津島神領米会所新規認可につき仲買の者五二名による請書	弘化四年十月	415
227	中島郡起村正米問屋譲受けにつき起宿本陣加藤右衛門七より願書控	嘉永四年二月	416
228	木綿仲買の際御触の趣遵守につき津島商人請書	嘉永六年五月	418

細目次

229	一之宮村市での漁油商売につき葉栗郡極楽寺村百姓重右衛門より北方代官宛願書写 元治元年三月	420
230	丹羽郡若倉村商人・職人運上金上納につき覚書	421
	二 町の祭礼	
231	御鼓踊りの儀につき海東郡津島村町方・村方庄屋への申渡に関する覚書 元禄九年八月	425
232	津島村町方神事手踊の儀につき大橋源三右衛門より今町ほか八か町宛廻状 六月	426
233	丹羽郡若倉村祭礼山車作り替えにつき覚書 文化十年六月	426
234	津島祭の際堤通見物場商人日覆につき海東郡津島村惣年寄り佐屋代官宛願書控 文化十三年六月	428
	三 災害と救恤	
235	海東郡津島村度々の火災による困窮につき勘定方より俟約申渡書 宝暦七年三月	428
236	海東郡津島村商売困窮につき同村惣年寄り佐屋代官宛金二千両拝借願書控 文化十二年十一月	429
237	丹羽郡若倉村暴風雨被害につき小牧代官へ届書写	430
	天保八年八月	
238	美濃路起宿下町出火のため救済金支給につき宿役人より北方代官宛願書写 弘化二年四月	433
	第八章 産業	
	第一節 農業	
	一 耕地と農産物	
239	丹羽郡浅野村検見案内覚帳写 寛文二十年十月	436
240	中島郡一之宮村綿作検見願書控 天明四年八月	437
241	丹羽郡柴田村百姓綿など売買代金覚書 天保十二年	437
242	海西郡荷之上村産物および販売先につき同村庄屋より佐屋代官宛届書写 嘉永七年六月	439
243	中島郡三宅村の切干大根差送りにつき知多龜崎村百姓より成瀬氏柳原役所宛願書写 慶応三年十月	440
	二 農業経営の変化	
244	農業経営についての内密問合せに対する海西郡荷之上村服部弥兵衛の返答書控 弘化二年五月	440
	三 養蚕と製糸	
245	葉栗郡宮田村釜屋数および生糸生産量につき同村庄屋より北方代官宛届書写 慶応元年九月	444
246	信濃国よりの蚕種到着時優良蚕種選別願書写および蚕種量・蛹出来高見積書	445
247	尾張藩領内生糸取締りにつき葉栗郡宮田村百姓らより北方代官所ほか宛届書控 慶応二年三月	446
	第二節 農村工業	
	一 絹木綿の生産	
248	棧留繰機増桁につき丹羽郡和田勝佐村平右衛門より小牧代官宛願書控 文化六年三月	448
249	中島郡起村織屋機子株数付帳 天保三年四月	448
250	織賃など引下げにつき葉栗郡村久野村織屋甚三郎より北方代官宛届書控 天保十四年閏九月	449
251	結城・棧留繰機屋為替御用金上納につき葉栗郡宮田村庄屋より北方代官宛届書控 天保十五年五月	450

252	結城縞一月分印料銀上納につき中島郡起村より鷓多須代官宛 届書控 慶応三年二月	450
253	二 水車による絞油・搗麦 水車設置許可につき葉栗郡宮田村此七宛申渡書写	450
254	葉栗郡宮田村水車屋仲間取極め一札写 安政五年六月	452
255	葉栗郡宮田村絞油業者一軒毎の絞油量につき北方代官宛届書 写 天保七年八月	454
256	水車営業再開許可につき葉栗郡宮田村此七より北方代官宛願 書写 天保八年三月	455
257	江戸向け白油輸送許可につき葉栗郡宮田村水車屋権六より北 方代官宛願書写 天保十一年十月	457
258	大坂・大津向け在油輸送許可につき葉栗郡宮田村儀兵衛より 北方代官宛願書写 天保十二年六月	457
259	美濃国加茂郡取組村からの綿実輸送許可につき宮田村此七よ り北方代官宛願書写 天保十五年十月	458
260	伊勢国大口・江戸・神奈川よりの綿実送り状 安政二年正月・同年二月	458
261	綿実購入につき葉栗郡宮田村水車屋より伊勢国津商人宛書状 九月	459
262	不作のため水車による挽麦製作販売差止めにつき宮田村小百 姓惣代より願書写 嘉永三年十一月	460
263	葉栗郡宮田村諸穀積出し方届書控 嘉永三年九月	461
264	葉栗郡宮田村搗麦積出し方届書控 安政七年二月	461
265	三 酒造 中村屋善十郎へ酒株譲渡につき津島神領理右衛門より佐屋代 官宛願書写 天明七年八月	462
266	知多郡横須賀町方御蔵酒分造りにつき荷之上村清右衛門らよ り佐屋代官宛願書写 天保九年十一月	464
267	四 焼油製造 焼油冬期値上げにつき葉栗郡極楽寺村より北方代官宛願書下 書 天保十四年十月	464
268	焼油津留につき葉栗郡極楽寺村重右衛門より北方代官宛願書 写 元治元年五月	465
269	第三節 商業 一 木綿の小買・仲買 名古屋木綿問屋へ養子につき名古屋車町礪貝吉右衛門ら請負 証文写 享保二十年十一月	466
270	津島木綿問屋相統につき津島村大橋源三右衛門ほか八名より 請合証文 宝暦五年九月	467
271	美濃国羽栗郡竹ヶ鼻商人棧留請取扱いにつき願書写 享和元年十一月	468
272	尾張木綿小買人別書出帳綴 文政十一年十一月	470
273	中島郡小信中島村吉田家京・大坂縞販売覚帳(抄)	478
274	結城縞値段引下げにつき中島郡起村嶋屋乙蔵より鷓多須代官 宛届書控 天保十三年四月	484
275	木綿世話方煎煎方の仕法につき近国売木綿世話方よりの嘆願 書写 天保十五年三月	484

細目次

276	藩為替御用金五万兩につき木綿他所送り仲間より町奉行所宛願書写 天保十五年八月	486
277	結城・棧留織蔵物取立てにつき京都商人より尾張藩役所宛願書写 安政二年七月	489
278	二 総糸仲買 越前国福井総糸仲間と尾張・美濃総糸仲間との取替し規定書写 元治二年四月	490
279	三 地藍問屋 地藍問屋締り方につき紺屋仲間より紺屋頭宛願書写 天保三十年十一月・同四年正月	492
280	四 灰商い 海西郡荷之上村弥平治灰仲買許可申渡書写 文政九年八月	494
281	美濃国長良三郷における灰問屋設立につき立田輪中惣代らより鶴多須代官宛願書写 天保八年九月	495
282	五 他所商い 葉栗郡宮田村他所商い申請洩れにつき同村庄屋より北方代官宛願書控 天保十五年十月	496
283	第四節 産物会所 一 起産物会所 美濃路起宿商政会所取扱い洋系代金支払いにつき同会所世話方より商政局宛願書控 明治三年二月	497
284	丹羽・葉栗・中島各郡鑑札下げ渡し結城棧留織蔵人名前書上 明治四年	498
285	中島郡起産物会所御益金ほか納払御勘定目録写 明治四年三月	500
286	二 宮田産物会所 葉栗郡宮田村産物会所設立仕法につき同村國産方御用掛より建白書下書 明治二年五月	501
287	葉栗郡宮田村産物会所蔵敷益・春夏蛹益および延米益帳 明治四年	502
288	三 津島産物会所 津島産物会所佐織織取扱い仕法につき津島村國産御用掛より勘定奉行宛伺書 明治二年五月	504
289	津島産物会所佐織織御印鑑取立諸勘定帳 明治二年十二月	505
290	一 川並番所 海東郡蟹江本町村四郎左衛門流材留木勤め方届および御役御免願書写 元禄十年十月	510
291	犬山番所にて船より枰材発見につき取扱い留書 元禄九年二月	513
292	円城寺番所にて犬山枰乗り偽造手形一件につき取扱い留書 正徳二年九月から同三年正月	513
293	材木拝借鶴飼船造作材輸送につき中島郡起村庄屋より川並番所宛通船手形写 延享元年七月	515
294	堀川尾頭番所にて夜分積荷移替えにつき中島郡起村新平宛申渡書 文化十四年三月	516
295	美濃国細目村黒瀬三右衛門輸送材役銀済につき各務勸兵衛より川並番所宛手形 天保元年三月	516

第九章 河川交通

第一節 川並支配

296	葉栗郡光明寺村仙治郎への材木長良川役済につき長良川役所より川並番所宛手形 天保三年四月	516
	二 船改と船数	
297	中島郡・葉栗郡川船改につき触書および中島郡起村船鑑札留書 文化七年八月・同十年八月	517
298	丹羽郡大山村只助・平兵衛五十石積大鷄飼船新造につき拝借金下付願書写 文化元年正月	519
299	葉栗郡宮田村における船購入年月日・船主・寸法等につき書上 明治五年七月	520
	三 移出入の規制	
300	津留中における渡船の取締りにつき中島郡起村より鶴多須代官宛願書写 天保七年十二月	521
301	米麦背売りにつき中島郡起村藤右衛門積戻し申渡書	522
	第二節 渡船場	
	一 渡 船	
302	葉栗郡里小牧村渡船由緒等につき届書写 元禄三年正月	523
303	美濃路起渡船につき幕府勘定普請役への届書写	525
	享和二年十一月	
304	佐屋渡船につき佐屋船会所諸用記録	527
305	美濃路起渡船常夜灯設置につき寄付帳(抄)	531
	天保十三年六月	
	二 寄 船	
306	寄船要請につき佐屋船会所より起宿船庄屋宛留書	532
	天明三年五月から六月	
307	佐屋湊への寄船につき廻状および起船庄屋よりの廻状留書	534
	寛政十二年八月	
	三 渡船の利用	
308	起宿助郷渡船運賃入組みにつき齋藤弥五六より磯貝武右衛門宛取調へ届書写 文政七年閏八月	535
	四 船 橋	
309	美濃路起宿渡船場常置の船橋道具諸色改帳 延享五年七月	537
	第三節 運 材	
	一 桴輸送	
310	犬山桴輸送請負人神戸家一年間平均桴取扱量および勘定につき覚書 元禄十一年九月	540
311	犬山湊役・足代木運上につき犬山神戸家より同町奉行宛願書写 享保六年十二月	541
312	幕府御用桴輸送請負につき神戸弥左衛門より飛驒代官宛証文写 享保十五年九月	543
313	幕府御用桴輸送費値上げにつき桴輸送請負人より嘆願書および輸送桴数覚書写 享保二十一年二月	544
314	中島郡神明津前浅瀬のため桴佐屋川通行につき桴輸送請負人より願書写 宝永二年十一月	546
315	犬山神戸家桴輸送につき由緒および木曾方・飛驒方商木桴乗賃につき届書写 寛政八年十二月	547
316	桴乗前株十一口半担保に二百両借用につき犬山大海屋より綿屋太兵衛宛証文 文政五年十二月	550

細目次

317	二 材木輸送 材木輸送につき長良川役所より葉栗郡光明寺村材木屋仙治郎宛覚書 天保二年四月 ……	550
318	材木購入取極めにつき美濃国加茂郡下麻生村商人より光明寺村商人ら宛一札 天保四年十二月 ……	551
319	三 流材と留木 中島郡起村への流材留賞として四分の一下付につき郡奉行衆より起村役人宛覚書 万治四年二月 ……	551
320	鳥ヶ地番所における流木留木につき番所役人覚書(抄)	552
321	海西郡四郎左衛門新田前小堤取除きおよび流材につき榎輸送請負人より願書写 正徳二年六月 ……	554
322	中島郡起村流木留木賃渡し方調べ帳(抄) 天保十三年七月 ……	555
323	四 流材の取締り 川廻り役増員および川並番所増設などにつき国方役人覚書 寛文三年四月 ……	556
324	木曾川川廻り増員につき国方役人覚書 寛文六年五月 ……	557
325	海西郡荷之上村服部弥兵衛留木裁許人申付状 寛政十年九月 ……	557
326	苗字・帯刀につき海西郡荷之上村留木裁許役服部弥兵衛より佐屋代官宛届書写 文化二年閏八月 ……	557
	第四節 諸荷物輸送	
	一 年貢米輸送 海西郡荷之上村・五之三村年貢米船積みにつき申請書類留書 天保五年十月・同年十一月 ……	558
327		
328	中島郡起五か村米納帳(抄) 弘化二年十一月 ……	560
329	二 運賃と荷物輸送 犬山番所通船船数届書写 元禄十一年十一月 ……	564
330	海東郡勝幡村・中島郡勝幡新田積荷問屋と津島積荷問屋の争いにつき返答書写 文政元年八月 ……	564
331	中島郡起村出船手形覚(抄) 天保六年九月 ……	567
332	葉栗郡宮田村船々積荷物届書写(抄) 嘉永七年七月 ……	569
333	葉栗郡北方村と各地の船荷物運賃表 寅七月 ……	572
334	三 川原石輸送 美濃路起宿困窮扶助のため石問屋開設につき問屋右衛門七より願書写 延宝二年九月 ……	573
335	海西郡八穂新田三之手普請につき石船請取覚書 天保九年正月 ……	575
	第十章 陸上交通	
	第一節 街道と宿場	
	一 佐屋路 佐屋宿助郷帳写 元禄七年 ……	578
336	佐屋宿旅籠屋との客引争論につき海東郡津島村十六か町代より佐屋代官宛願書控 文化十三年 ……	579
337	旅人などへの施業につき佐屋宿御用掛医師より佐屋代官宛願書控 天保七年 ……	583
338	二 美濃路・岐阜街道 中島郡起五か村宿馬新伝馬および人足共御用につき一札 天和二年四月 ……	584
339		

340	朝鮮通信使通行人馬触などにつき海西郡荷之上村村役人留書	611
341	美濃路起宿本陣問屋加藤家跡継ぎ養子につき願書写 享保四年五月から十一月	585
342	美濃国墨俣宿佐吉起宿本陣問屋加藤家後見役引受につき願書写 享保十三年四月	591
343	美濃路萩原宿納払勘定書写 成年	592
344	測量御用につき触書写 明治二年八月	596
345	岐阜御館元御館荷一之宮宿より清洲宿遅延につき中島郡一之宮村庄屋より届書写 文政五年九月	599
346	三 犬山街道 小牧宿人馬につき同宿問屋役人より丹羽郡八劔村庄屋宛書状 安政元年十二月	599
347	犬山御番所御証文人馬寛(抄) 安政二年十二月	600
第二節 さまざまな通行		
一 旅と入びと		
348	海西郡荷之上村服部家の伊勢参詣道中記 安政五年二月	603
349	葉栗郡宮田村三輪家の善光寺参詣道中記(抄) 弘化三年二月	606
350	中島郡萩原村百姓らの善光寺参詣講帳 文久三年三月	609
351	二 馬・車の輸送 丹羽郡北山名村・南山名村馬市相立につき願書写 享保十五年八月	610
352	小荷駄馬用道具類値段につき葉栗郡村久野村百姓らより北方代官宛届書控 天保十四年閏九月	611
353	尾張藩国産大坂行荷物送り状写 明治二年十月	612
354	大八車讓請たきにつき葉栗郡宮田村新蔵ほかより北方代官宛願書控 弘化四年二月	612
355	大八車讓請たきにつき葉栗郡宮田村弥七より北方代官宛願書控 嘉永三年二月	613
356	車にて年貢川出しにつき中島郡小信村庄屋方右衛門ほかより普請方役所宛願書控 寅十一月	613
357	三 幕末の通行 和宮下向につき犬山上本町大島太兵衛勤書控 万延元年十二月	614
358	美濃路起宿本陣問屋和宮下向御用諸色御触留書 万延二年正月	616
359	將軍家茂上洛につき葉栗郡宮田村庄屋諸事覚書(抄) 文久三年二月	621
360	美濃路起宿進発御用留 慶応元年閏五月	623
第十一章 寺院と神社		
第一節 尾張藩制下の寺社		
一 寺社の運営と維持		
361	津島神社祭祀役儀帳(抄) 寛永十二年十月	630
362	横井伊折介家菩提寺への知行所付与状 寛永十九年七月	632
363	横井伊折介家菩提寺一心寺への寺領寄進状 明暦二年十一月	632
364	津島神社神主家相続につき横井一門連署一札 正保二年三月	632
365	津島神社神主永室修理亮の若党を成敗した一件につき覚書 延宝二年四月	633

細目次

379	津島神社御師伊勢權家覚帳	651
378	伊勢桑名郡上野村檀那所手代申付一件書付	649
	天和二年四月	
377	市江島の内桑名御坊付門徒につき海西郡荷之上村服部氏より 届書写 慶応二年六月	647
376	中島郡六角堂村長光寺領内村々祈禱札配り巡行につき止宿方 許可証 嘉永七年正月	646
375	神葬祭執行願につき国府宮神主らより妙興寺塔頭宛一札 嘉永元年五月	646
374	曹洞宗諸寺院へ神葬祭離檀に関する寺社奉行所の指示申渡に つき書付写 弘化四年四月	645
373	犬山天王社人日比野筑後ほか神葬祭相伝達状写 天保十五年八月	643
372	離檀神葬祭執行につき愛知・知多両郡および城下北在神職惣 代願書写	643
371	神社改につき丹羽郡北山名村神主より書上	639
370	神子株につき丹羽郡岩倉村社人らへ達書	639
369	丹羽郡岩倉村神明停止注進状写	638
368	丹羽郡岩倉村神明造管探索復命書控写(抄)	636
367	「尾州志」編纂事業に際しての寺社方の対応につき諸事留書 元禄七年十二月	635
366	加賀藩士長監物より中島郡大塚山性海寺宛書状 貞享四年正月	634
380	津島祭市江山車船につき船奉行千村助右衛門より舟付村など 三か村問屋宛書写	678
381	市江山車船差出につき濃州三湊方より尾州郡奉行宛願書写 享保八年十月	678
382	津島祭車船出につき市江方車屋宇佐美又右衛門より御船方役 所宛口上書写 寛延元年六月	679
	第二節 地域社会と寺社	
383	一 キリシタン禁制と宗門改	
384	葉栗郡村久野村宗門改帳写	679
385	丹羽郡中奈良村兵蔵一族キリシタンにつき五人組・宗門除の 国方御用覚書 寛文五年九月	697
386	キリシタン所縁の者の扱いにつき国方御用覚書 寛文六年正月	698
387	キリシタン門徒取扱い方手形文言につき国方御用覚書 寛文六年二月	699
388	丹羽郡高橋村キリシタン佐右衛門抱の三介親族につき届書写 寛文六年二月	699
389	放免のキリシタンにつき国方御用覚書	700
390	丹羽・葉栗・春日井三郡のキリシタン縁者書上につき達写 寛文六年七月	701
391	捨子養育申付けの触書写	701
392	キリシタン密告者への褒賞につき国方御用覚書 寛文六年十月	702
393	宗門改当年より一度とする旨達書写	702
	寛文八年五月	
	キリシタン類族の者につき津島神社神主より届書控	703
	未三月	

細目次

394	二 地域に根ざす信仰 村方組合離れ別帳化につき修験宝龍院自分一札控	文政二年二月	703
395	修験道行事・官職等につき丹羽郡黒村修験覚書	文政三年五月	704
396	小牧代官所人別改における百姓身分書上の取消し要求につき 修験支配所宛願書写	嘉永三年三月	705
397	金比羅講中取締りの触書写	天保二年二月	706
398	大山城下武士間での陰陽道株抵当借金証文	文久元年十月	707
399	寂光院による丹羽郡善師野村雨乞修法の覚書	六月	707
400	困窮の軍員役守方への下賜物につき寺社奉行所宛願書控	慶応二年十二月	708
第十二章 人びとの暮らしと社会			
第一節 家と家族			
一 家格と由緒			
401	海西郡東保村宇佐美又右衛門苗字・帯刀・自分一札願書写	寛保二年二月	712
402	御目見筆頭席につき中島郡三宅村野口善兵衛より犬山成瀬氏 役所宛願書控	嘉永四年三月	712
403	丹羽郡大赤見村庄屋服部喜左衛門家由緒上申につき届書控	戌二月	714
404	二 家族と相続 買取の家屋敷戻し方につき中島郡三宅村野口善兵衛より同村 嘉藤次宛一札写	文政三年一月	714
405	助成として家屋敷頂戴につき中島郡三宅村嘉藤次より同村野 口善兵衛宛請書	文政三年一月	715
406	調達金利息下げ金等要求につき中島郡三宅村善兵衛より犬山 成瀬氏役所宛願書控	安政三年十一月	716
407	中島郡中島村猶左衛門家徳引分につき同人より今村堀田氏宛 依頼書	文久二年九月	717
408	某村来之助より中島郡今村伯父ら兩人宛農業出精約定書	慶応三年三月	717
409	海西郡二子村茂右衛門跡目相続方につき鶴多須代官宛内済証 文控	慶応四年三月	718
410	葉栗郡村久野村青山周左衛門家懸り人青山周八相続につき願 書写	未二月	719
三 女子持ち分			
411	丹羽郡和田勝佐村おきよ永代畑地売渡証文	寛政二年三月	719
412	妻への家産渡し方依頼につき知多郡坂部村市左衛門より海西 郡早尾村猪八郎宛覚書	元治元年九月	720
413	海東郡蜂須賀村銀右衛門娘持参物書上覚書	卯年	720
第二節 人びとの生涯			
一 縁談・婚姻・離婚			
414	姉縁談の件了承などにつき中島郡上丸淵新田村啓助より村役 人宛請書	文政十年十月	723
415	海西郡内佐屋村権兵衛夫婦の離婚取り直しにつき岡田常三郎 より服部弥兵衛宛書状	天保七年六月	724
416	復縁の際心掛けにつき海西郡内佐屋村みのより亭主ら宛請書 写	天保七年七月	725

細目次

427	種痘療治継続願につき美濃路稲葉宿種痘所締り役岡田多宮より清須代官宛上申書 安政二年四月	745
426	番人の薬販売につき海東郡越津村庄屋より佐屋代官宛届書写 安政元年十二月	744
425	宛願書写 文政十一年五月 本道医師の出療治を求める海西郡荷之上村百姓より佐屋代官宛願書写	744
424	海西郡烏ヶ地前新田村年中行事につき服部凱覚書 三 地域医療	741 740
423	雨乞御葺踊の作法につき海東郡津島村大橋源三右衛門らより 二 年中行事	740
422	大代官宛口上書控 寛文三年八月 海東郡須賀村引越の者ども屋敷絵図面帳(抄) 天保十四年四月	735
421	蟹江本町村鈴木家献立日記(抄) 宝永五年正月	732
420	海東郡須賀村引越の者ども屋敷絵図面帳(抄) 一 住まいと食事 第三節 くらし	731 729
419	海西郡荷之上村服部凱遺曆祝賀献立および祝儀到来物につき 三 老いと死 覚書 嘉永七年十一月	727
418	津島村上切町若者組取極めにつき若者頭より町代衆宛届書写 安政四年八月	725
417	海西郡荷之上村服部百太郎出生の際祝儀到来覚帳 寛政六年閏十一月	725
416	四 施物と積金	
415	海西郡荷之上村服部凱施物書上(抄) 文政元年から同十年	746
414	頭百姓より村方への施物貯蓄につき丹羽郡時之島村庄屋らより小牧代官宛願書控 嘉永三年五月	749
413	給人発起の積立金仕法につき葉栗郡宮田村世話人より給人鈴木氏宛伺書 明治二年二月	749
412	第四節 さまざまな稼ぎの人びと	
411	旅籠屋の女性 姉取戻しにつき海西郡立石村百姓より伊勢国関宿町役人宛願書控 文化十一年正月	750
410	海東郡津島村売女取締り一件につき同村役人留書 文政四年八月	751
409	美濃路起宿旅籠屋売女人員書上控 明治五年六月	751
408	二 差別を受ける人びと 海東郡津島村えたの高須領分での皮細工稼入組に関する村役人留書 文政四年三月	754
407	興行のため畑地借用につき犬山町長吏惣代より町惣年寄宛手形 文政六年正月	755
406	非人への施行につき犬山商人覚書 天和二年五月	755
405	髪結職営業につき犬山町長吏より同上本町内衆中宛請書 三 徘徊する人びと	756
404	普化宗門取締りにつき遠江国浜松普大寺取締役より丹羽郡和田勝佐村役人宛手形 嘉永四年九月	756
403	止宿休泊止留場料受取につき伊勢国白子普濟寺役代より葉栗郡宮田村庄屋宛手形 寅一月	757

440	名古屋浪人や座頭らへ酉年二月より五月までの支払いなどに つき丹羽郡森本村下用覚書 西五月	757		
第五節 社会不安とその対応				
	一 世相・風聞・情報			
441	大塩の乱につき川方屋善兵衛よりの書状写 天保八年二月	760	449	海西郡荷之上村服部家蔵書目録 文化十四年六月
442	異国船渡来の商いへの影響などにつき豊田弥三郎より葉栗郡 宮田村百姓宛書状 嘉永七年正月	761	450	海西郡荷之上村服部家所蔵書画目録 明治二年八月
443	二 災害と困窮の諸相		451	永楽屋東四郎より海西郡荷之上村服部弥兵衛宛書籍購入覚書
	安政地震による尾張国村々農家田畑破損書上帳(抄)	763	452	大野屋惣八より海西郡荷之上村服部弥兵衛宛資本等覚書
444	窮民御救いにつき海東郡村々惣代より佐屋代官宛願書控	766	453	書籍購入代金受取につき菱屋藤兵衛より中島郡小信中島村吉 田世良宛覚書 九月
445	海西郡大宝新田・重宝新田村方夜廻り繰り方掟書写	767	454	表具代受取につき東月堂幸八より海西郡荷之上村服部弥兵衛 宛覚書 年十二月
446	村方繰り筋につき海西郡藤ヶ瀬村小百姓惣代らより鶴多須代 官宛請書写 慶応三年十一月	769	455	第二節 子どもの教育
447	四 変化を求めて		456	一 手習い教本の世界
	美濃路起宿加藤家へお札降りの際祭礼につき町内割合勘定書 上帳 慶応三年九月	770	457	海東郡蜂須賀村木全辰女使用教本 天保二年八月
448	海西郡狐地新田村百姓と新田頭宇佐美氏との出入につき同新 田庄屋らより願書控(抄) 慶応三年	772	458	海東郡蜂須賀村木全利三郎使用教本 安政三年十一月
			459	犬山大島銅五郎使用教本 安政三年冬
			460	中島郡小信中島村吉田茂右衛門世良使用教本 嘉永四年三月
			461	
			462	
			463	
			464	
			465	
			466	
			467	
			468	
			469	
			470	
			471	
			472	
			473	
			474	
			475	
			476	
			477	
			478	
			479	
			480	
			481	
			482	
			483	
			484	
			485	
			486	
			487	
			488	
			489	
			490	
			491	
			492	
			493	
			494	
			495	
			496	
			497	
			498	
			499	
			500	
			501	
			502	
			503	
			504	
			505	
			506	
			507	
			508	
			509	
			510	
			511	
			512	
			513	
			514	
			515	
			516	
			517	
			518	
			519	
			520	
			521	
			522	
			523	
			524	
			525	
			526	
			527	
			528	
			529	
			530	
			531	
			532	
			533	
			534	
			535	
			536	
			537	
			538	
			539	
			540	
			541	
			542	
			543	
			544	
			545	
			546	
			547	
			548	
			549	
			550	
			551	
			552	
			553	
			554	
			555	
			556	
			557	
			558	
			559	
			560	
			561	
			562	
			563	
			564	
			565	
			566	
			567	
			568	
			569	
			570	
			571	
			572	
			573	
			574	
			575	
			576	
			577	
			578	
			579	
			580	
			581	
			582	
			583	
			584	
			585	
			586	
			587	
			588	
			589	
			590	
			591	
			592	
			593	
			594	
			595	
			596	
			597	
			598	
			599	
			600	

第十三章 文化

第一節 所蔵書籍・所蔵書画の文化世界

	一 所蔵書籍の文化世界			
449	海西郡荷之上村服部家蔵書目録 文化十四年六月	776		
	二 所蔵書画の文化世界			
450	海西郡荷之上村服部家所蔵書画目録 明治二年八月	788		
	三 書籍の購入・貸本と書画の表装先			
451	永楽屋東四郎より海西郡荷之上村服部弥兵衛宛書籍購入覚書	799		
452	大野屋惣八より海西郡荷之上村服部弥兵衛宛資本等覚書	799		
453	書籍購入代金受取につき菱屋藤兵衛より中島郡小信中島村吉 田世良宛覚書 九月	801		
454	表具代受取につき東月堂幸八より海西郡荷之上村服部弥兵衛 宛覚書 年十二月	801		
455	第二節 子どもの教育			
	一 手習い教本の世界			
456	海東郡蜂須賀村木全辰女使用教本 天保二年八月	802		
457	海東郡蜂須賀村木全利三郎使用教本 安政三年十一月	803		
458	犬山大島銅五郎使用教本 安政三年冬	805		
459	中島郡小信中島村吉田茂右衛門世良使用教本 嘉永四年三月	806		

細目次

	二 子どもの儒学学習の実態	
459	海西郡荷之上村服部逸三郎の儒学学習読書記録	808
	文政九年七月	...
	第三節 文芸・学芸・地誌の創作と背景	
	一 旅日記の文芸	
460	海西郡荷之上村服部續の添削付国学的旅日記 文久二年	818
	二 国学的隨筆の世界	
461	本居春庭門人葉栗郡玉野井村墨八百八秋隆の文芸抄	828
	三 『尾張名所図会』名区小景の背景	
462	『尾張名所図会』板木料割付および催促につき小田切伝之丞より三輪源作宛書状 七月	835
463	『尾張名所図会』板木料催促につき小田切伝之丞より三輪源作宛書状 七月	837
464	『尾張名所図会』板木料催促につき三輪源作より葉栗郡玉野井村神主宛書状 五月	838
465	『名区小景』出版につき小田切伝之丞より吉田茂右衛門宛書状 十月	838
	四 『尾張地名考』著者津田正生と荷之上村服部家	
466	『尾張地名考』の校合につき津田正生より海西郡荷之上村服部氏宛書状	839
467	『尾張地名考』の校合につき津田正生より荷之上村服部弥兵衛宛書状 五月	840
468	愛知・春日井一部分清書出来につき津田正生より服部凱宛書状 天保八年五月	841
	勘定所へ愛知・春日井一部分上納予定につき津田正生より服部凱宛書状 嘉永三年七月	842
	第四節 学問と地域政治	
	一 明倫堂教授の廻村講話要求	
470	海西郡荷之上村庄屋服部弥兵衛廻村講話願書写	843
	文政六年三月	...
471	廻村講話につき海西郡荷之上村庄屋服部逸三郎より佐屋代官宛願書写 天保十二年五月	845
472	二 明倫堂教授並鈴木服・教授渡辺忠左衛門の講話内容	
	海西郡荷之上村服部凱筆「御教授鈴木常介様御教諭聞書」	
	天保七・十二年	...
473	三 儒教道德本の出版配付	
	海西郡荷之上村服部弥兵衛・佐屋宿加藤五左衛門『六論衍義大意鈔』献本の願書写 安政三年四月	861
	第五節 尾張独自の八代流花道	
	一 八代流花道伝書	
474	八代流花道伝書 寛政十一年七月	863
	二 八代流花道の地域展開	
475	中島郡野田村岩田家八代流花道入門誓状	870
	享和元年から嘉永七年	...